

ながじんまがじん^{Vol.}98

腎臓病専門施設である長崎腎病院・クリニック広報誌

Take free

- ◆ノーリフトケアをご存知ですか?
- ◆在宅血液透析「HHDパンフレットが新しくなりました。」
- ◆感染情報「新型コロナウイルス検査について」
- ◆第9回部署紹介「薬剤課」
- ◆安全管理「お薬手帳の活用方法」
- ◆広報委員のつぶやき「ステイホーム」
「大村腎クリニック開設準備」
- ◆こくら庵便り「テレビ電話への取り組み」

ノーリフトケア®をご存じですか？

腰痛対策・ノーリフトケア推進チーム
林 涼子

ノーリフトケア®とは？

「持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケア」

【患者(入居者)】

- ・寝たきりによる合併症の予防(拘縮、褥瘡、誤嚥性肺炎の予防)
- ・皮膚損傷、移乗時の不快感、転倒転落の危険の軽減

【職員】

- ・腰痛が軽減する等、介助者の身体的負担が軽減。
- ・適正な福祉用具を使用する事で統一されたケアが提供できる。
- ・労災申請の削減

ケアを提供する側、される側双方において安全で安心なケアです。

現在、保健衛生業の中での腰痛対策の意識はまだまだ低く、中でも医療保健業や社会福祉施設の腰痛件数は年々増加しています。看護や介護の現場では患者(入居者)の安全が優先であるという意識が強く、働く人の安全と健康は二の次となってしまう、腰痛は「**職業病**」であるとの思い込みが根付いている事が原因の1つです。

日本では平成25年に国の腰痛予防対策指針(厚生労働省)が改訂され、「人力での抱え上げは原則行わせない」「リフト等福祉機器の活用を促す」ことが明示されています。

当院でもアンケートを実施し、約7割のスタッフが腰痛を抱えながら仕事をしていることが分かりました。

私達はプロとして、腰痛のリスクを抱えながら働く事を仕方がないと諦めるのではなく、予防・対策を実施していく責任があります。

衆和会(照善会)では、**働く人の安全を守り**、いつまでも健康で働き続ける事の出来る職場を作る事で、**患者(利用者)の安全と安心を支え、質の高い看護・介護サービスを提供する**ことを目標に掲げ、ノーリフトケア®の推進活動を開始しました。

メンバーがノーリフトコーディネーター資格を取得し、院内での教育研修・推進活動も行っています。

今回は、現在当院で行っているノーリフトケア®の一部を紹介したいと思います。

福祉用具の活用

患者(入居者)の身体状況や目標に合った福祉用具を使用する事で、無理な力が加わることで起こる拘縮や、摩擦による褥瘡、剥離や転落等の介護事故を予防します。



移乗ロボットSASUKE



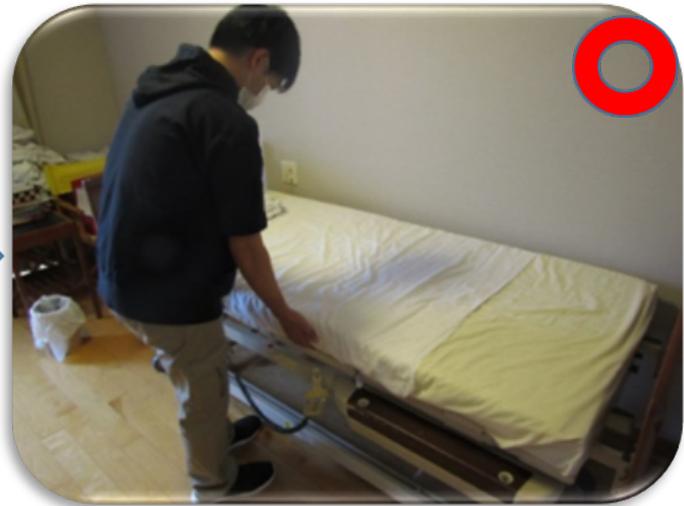
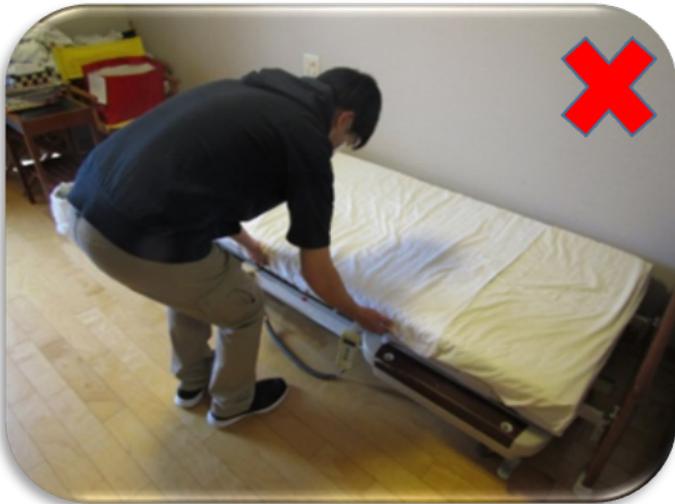
スライディングシート

不良姿勢の禁止

ノーリフトケア®にとって福祉用具やリフト等の機械の活用はとても重要ですが、間違っただけの使い方で行うと、いくら道具を使っても職員・対象者双方に負担がかかってしまいます。そこで中腰姿勢や前かがみ姿勢を5秒以上取り続ける事を禁止し、正しく体を使う事で腰痛発生を予防しています。



穿刺・抜針時は椅子に座って業務を行う事で長時間の不良姿勢を防止します。



ベッドの高さを適正な位置まで上げて中腰での作業を行わないようにします。

この活動を行うためには「一人ひとりの意識を変える」ことが必要であり、それが一番難しいことではないかと感じています。まだまだ始めたばかりです。これからも「医療の安全性の確保」と「職員の健康を守る」ために、ノーリフトケア®の定着に向けての取り組みを推進していきたいと思えます。



もう一つの選択肢
在宅血液透析

選ばれた方の声

- ・体調が良くなった
- ・家族と過ごす時間が増えた
- ・仕事の時間がもてた

— 患者数の推移 —

年	2003	2005	2007	2009	2011	2013	2015
患者数	110	127	187	229	327	461	569

日本透析医学会統計調査委員会調べ

「HHDパンフレットが新しくなりました。」

臨床工学課 田口尚人

もう一つの選択肢

在宅血液透析(HHD)

医療法人 衆和会 長崎腎臓病センター
長崎腎クリニック

Home Hemo Dialysis

在宅血液透析

「もう一つの選択肢」

医療法人 衆和会 長崎腎臓病センター
長崎腎クリニック
大村腎クリニック

一度は目にしたことがありますでしょうか？

これはHHD推進チームが発足時に作成した在宅血液透析のパンフレットになります。中身はHHDに関する疑問への回答や、実際にHHDを実施されている患者様の声、HHD担当のスタッフ紹介などが掲載されております。

今回、このHHDパンフレットの更新を行いました。

新しいデザインはパンフレットをもっと多くの方に手に取ってもらいたい、HHDを知ってもらいたいという思いで作りました。これまでの経験も含めた内容となっておりますので、より充実した内容となっております。

表紙のHHDのロゴはグアムの街並みと融合させた作品となっております。フォントなどもひとつひとつこだわって作成しておりますので「もうひとつの選択肢」ぜひ手に取り、ご覧になってみてください。

Home Hemo Dialysis



新型コロナウイルス検査について

看護師 宮崎沙弥香 篠原薫

新型コロナウイルスは第一波は越えたものの、自粛解除で大都市を中心に再び増加傾向で、本当に安心できる日までもう少ししばらく待つとしましょう。治療薬やワクチンの普及まではあと半年以上かかる見みですが、今回は現在当院でもできる検査のお話です。



☆PCR検査



理論的にはウイルス1個でも検知できる検査法です。ただ、現在の技術ではPCRの検知能力は70%程度であり、また鼻咽頭粘液を検査するため、採取の際に医療者が患者さんの飛沫を直接浴びる危険性があります。また結果が出るまでに数時間かかります。

☆抗体検査



血液中の抗体の有無から「過去の感染歴」を調べる検査です。陽性の場合、抗体の種類で(IgMやIgG)、過去のどのへんで新型コロナウイルスにかかったかが分かります。

現在、長崎県では感染者ゼロが数ヶ月続いています。しかし、自粛解除に伴い増加傾向の地域もあり、油断せぬようにしましょう。現時点の長崎市では「**流行地域への旅行、来訪者との接触**」が要注意点です。ご心配の方は当院に電話でご相談下さい。検査を必要と判断した場合、帰国者・接触者相談センターへ連絡します。(2020年7月2日)



薬剤課は現在5名で運営しています。

4Fに位置しており、外来透析患者さんへの投薬と処方管理、入院患者さんの入院時の持参薬の確認と服薬状況の把握、また、腎機能に応じた投与量であるか、紹介状と実際に持参された薬が違ってないかなどの確認を行っています。さらに検査値等へも気を配り、安心・安全な薬物療法を提供できるよう、日々奮闘しています。

他にも中心静脈栄養の無菌調整、治験なども行っています。

近いうちに日本初の病院薬剤師を主人公にしたドラマが始まる予定です。私たちの仕事が身近に感じてもらえるのではないかと期待しています。



こちら

安全管理
チームです！

『お薬手帳の活用方法』

薬剤課 小嶺真耶

『お薬手帳』をお持ちですか？

お薬手帳には、処方されたお薬の名前、飲む量、飲む回数など大切な情報が記載されます。

かかる病院やお薬をもらう薬局が複数あっても、お薬手帳を1冊にまとめることでお薬の一元管理ができるだけでなく、メリットもあります。

どのようなメリットがあるかというと、

- ・重複するお薬がないか？
- ・飲み合わせが良くないお薬がないか？

などのチェックを行ってもらうことで、リスクを回避することができ、安全で適正なお薬の治療を受けることができます。

特に現在服用中のお薬がある方は、災害などの緊急時にも、必要な情報が記載されていますので、いざという時のためにすぐ携帯できる場所に保管しておきましょう。

お薬を出してもらう病院ごと、お薬をもらう薬局ごとにお薬手帳を複数お持ちの方は、ぜひ1冊にまとめてもらい活用してください。



■ステイホーム

未知のコロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令され皆さんがこれまで経験のない不安な日々をお過ごしのことと思います。
そのような状況の中、このような言葉が毎日聞かれました。「ステイホーム」私も普段なら休日の日には、家族で公園へ遊びに行ったり、買い物に出かけたりするのですがこの「ステイホーム」期間中は、その名の通り自宅で過ごしていました。家族でトランプしたり映画を見たり、飼っている金魚やメダカのお世話をしたり、花や野菜を育てたりと普段なかなかじっくりできないことを家族で楽しみながら行うことができました。これは、庭の花や野菜の写真です。皆さんは、どのように過ごされましたか？



■大村腎クリニック開設準備

いよいよ7月20日(月)の開院が迫ってきました。工事も順調に進んでおり、外観が確認できる状況となりました。6月11日に現場確認が行われました。現在、内装工事が急ピッチで行われています。



また、ホームページにも概要が掲載されました。これから開院が楽しみです。



<http://www.nagajin.jp/oomura/>

特別養護老人ホームこくら庵
こくら庵の暮らし

稲佐ユニット
 介護福祉士 岩本由佳

テレビ電話への取り組み

～ビデオ通話で家族と笑顔でオンライン面会！～

新型コロナウイルスの影響を鑑み、こくら庵では4月7日から外出及び面会を禁止させていただいております。入居者様・ご家族様と会えない、話せない日々が続いているため少しでも不安やストレスの軽減に繋がればと思い、**6月からテレビ電話**を利用した**オンライン面会**を開始しました！利用するアプリは**Google「Duo」**！スマートフォン、タブレット等で利用できる無料ビデオ通話アプリです。ご家族様へ電話での事前説明後、改めて文書で案内を送付し同意の有無を確認。ご希望があった方へは、アプリのインストール、設定までをサポートしています。

ビデオ通話をするにあたって、

○日時は予約制 ○使用できる時間帯は14:00～16:00

○ビデオ通話時間は1人10分程度 とさせていただきます。

短い時間ではありますが、実際に利用された入居者様・ご家族様にはとても素敵な笑顔が見られ、顔を見ながら話ができると非常に喜ばれており、不安も少しは解消して頂いているのではないかなと思っています。

自粛要請も段階的に解除されておりますが、収束するまでは気を抜くことなく1日でも早く実際に会ってお話ができ笑顔・笑い声にあふれる日常に戻る日を願っています。



地域連携室より ご案内

理念：衆和会は、透析医療を中心とした24時間対応の腎疾患専門施設として、地域社会に貢献します。

基本方針：1. 自己研鑽により、透析技術の飽くなき追求に努める。

2. 患者の権利を守り、機能的なチーム医療を提供する。

3. 地域の医療・福祉と連携し、入院を必要とする患者の受け皿となる。

4月より担当医師が変更になりました		月	火	水	木	金
■長崎腎病院 診療科目 内科、腎臓内科 泌尿器科 診療時間 AM9:00～12:00 PM15:00～17:00	AM	林医師	原田医師 河津医師 澤瀬医師 (泌尿器科)	河津医師 船越医師 西野医師	原田医師	山口医師 澤瀬医師 (泌尿器科)
	PM	林医師	原田医師	河津医師	原田医師	山口医師
■長崎腎クリニック 診療科目 内科、腎臓内科 診療時間 AM9:00～12:00 PM15:00～18:00	AM	橋口医師 原田医師	橋口医師	橋口医師 原田医師	橋口医師	橋口医師 原田医師
	PM		休診		休診	

医療法人衆和会 NAGASAKI JIN GROUP

長崎腎病院

〒850-0032

長崎市興善町5番1号

☎095(824)1101



長崎腎クリニック

〒851-2105

西彼杵郡時津町浦郷272-14

☎095(813)2777

